

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也

## 自ら周りの世界に好奇心を抱き、働きかける

新たな年度になり、2か月が経ちました。初めて園に通う子どもたちにとっても、その保護者の方にとっても、新たな生活を受け入れ、いろいろな感情を乗り越えていくのは簡単なことではなかったと思いますが、園では落ち着いた日々を送れるようになってきています。

4月は晴れの日が続いたことに助けられ、園庭の遊具で遊ぶことで気が紛れる子どもが多かったのですが、5月になると、あちらこちらでいろんな虫を見つけることも増えてきました。お兄ちゃんたちが見つけて虫かごに入れていた灰色の虫。さわるとまん丸になる!?ねえ、触らせて、と思わず話しかける年少児。いいよ、と応える年中児がそっと手のひらに手渡すのかと思ったら(悪気はなく本人なりの優しさではありますが)腕に這わせてあげて、「わーっ」と思わず払いのける年少児。そんな事件も起きつつ、新入園児も周りの環境に関わり、周囲の世界に好奇心を抱き始める姿をよく見かけるようになりました。

園庭に出かけるときに見つけたお気に入りの「何か」を持ち帰るために「ビニール袋ちょうだい」と、先生をお願いして外に出かける子もいます。ビニール袋に水とパンジーの花びらを入れて揉み続けて色水を作って遊ぶ子。それを真似て葉っぱと水を入れて同じようにやっても「なんにもならない・・・」とうなだれる子。「いや、花じゃないと色水はできないよ」、なんて言ってやってみたもののこの花は色水にならない・・・経験の中から知っていることをやってみる、同じようにやってみたけれど同じ結果にはならない、どういときに同じようにできるんだろう。

子どもたちは教えてもらうことよりも実際に自分でやってみて、不思議に思ったり、探索をしたり、試行錯誤したりして、そのことに関する規則性や法則性を見つけていきます。そこにいろんな子がいることで、自分とは違う考えをする姿を見たり、一緒に試したり、工夫をしたりする。そんな互いの考えに刺激を受け合いながら、自分の考えをより良いものにしようとする気持ちが育っていくようです。

\*\*\*\*\*



## 絵の手紙について(2~5歳児クラス)

せんだい幼稚園では、「絵の手紙」を描く活動をしています。「園でどんなことが楽しかった?」「家族とどんなことをして遊んだ?」などと問いかけ、サインペンを用いてA6サイズ程の白用紙に絵を描く活動です。絵を描く活動は保育者のイメージを、子供を使って描かせるための活動ではなく、絵を描くことを通して「自分の思いや気持ちを伝える」、「絵で表現することに親しみを持つ」ことを目的として行っています。描き終えた子供とは「これは誰?」「何をしているところ?」などと、描いた絵の会話をしながら、子供達の気持ちや思いを聞くことでもっと伝えたい、もっと描きたいとの気持ちと同時に、自分に興味や関心を持ってもらえているという自己肯定感を育むための活動です。

子どもによっては「みんなで公園に遊びに行ったとき」など、本当に経験したことを絵にすることもあります。また、「お菓子の国で〇〇ちゃんと〇〇ちゃんと一緒に遊んでいるところ」などと絵の中の空想の世界で楽しんでいる子もいます。事実を描かないといけないわけではありませんので、「どんなお菓子が降ってくるの?」「ちょっとだけ降ってくるの?それともいっぱい?」などと、お話とともにイメージの世界を一緒に楽しみながら聞いてあげてください。

### 《絵手紙の持ち返し》

2・3歳児は週に1回程度、4・5歳児は2週に1回程度、園で絵手紙に取り組み、その中で月に1度だけ(園で描いた絵手紙を)お家に持ち返します。その際は連絡袋に入れて(連絡袋がない場合は袋に入れて)持ち帰りますので、保護者の方は子ども達が描いた絵のお話を聞き、裏にその内容を記載し、3日以内に再度連絡袋に絵手紙を入れて園に返却をお願いします。ご返却いただいた絵手紙は、園で保管している「絵手紙ファイル」に綴り、年度末(終業式の日)にお渡しします。

※連絡袋に入っていない絵手紙は自由時間に描いたものですので、返却に関しては任意です。(記入して返却いただいた分は絵手紙ファイルに綴っておきます。)



5/14 川内 太郎  
など、職員が日付・名前を記入します

裏

おうちでおまごとしているよ。  
はもんけ-きをつかったよ。

中国

保護者の方が絵のお話を聞いて、  
ご記入・ご返却ください。